

2025年度 町田市立成瀬小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和6年3月31日

学校教育目標 ○考える子 ◎力を合わせる子 ○健康な子 ○目指す学校像……一人一人を大切に育む学校 ○目指す児童・生徒像……①これからの社会を切り拓くための資質・能力を身に付け、予測困難な時代に主体的に向き合い、自己肯定感を高め、人生をより豊かなものにする力をもち、持続可能な社会の創り手となる児童 ②自分も相手も大切に、互いに認め合い、助け合える児童 ○目指す教師像……①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研究の取組と指導力の上昇を実践する教師 ②児童の実態を把握し、特別支援教育の視点をもった教師	学校経営の重点 ○開校1年目「新たな学校づくり」… ① 所属感・成実感をもてる学校 「友達が増えて楽しい」「皆で力を合わせて成功させて嬉しい」「自分も相手も大切かけがえない存在」 ② 自分たちでつくっていく学校 「児童・教職員・地域が心を合わせてつくる新たな学校」「新しい伝統・風土を自らつくる喜び」 重点目標の成果と課題 行事や様々な活動を通して、目標に向かって取り組み、成し遂げる喜びや達成感を感じる児童が多く見られた。また、学級や学年での活動、縦割り班、クラブ活動、委員会活動などの異学年活動・交流では、「自分も相手も大切にしたい」という意識が高まり所属感や成実感をもてる児童が増えてきている。一方で、児童一人一人の感じ方には差があり、まだ十分に所属感や自己肯定感をもてない児童も見られる。また、友達との関わり方や自分の思いの伝え方などに課題が見られる場面もある。今後は、日常の活動や行事、縦割り活動などを通して、互いを認め合う関係づくりをさらに進めるとともに、児童一人一人が自分のよさを実感しながら安心して学校生活を送ることができるよう工夫改善していくとともに、継続的な指導と支援を行っていく。
---	--

地域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	〇 %	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価																																																														
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	家庭・地域との連携を強化する。また、地域の環境及び人材を生かした体験的活動を生かし、実施する。	家庭と連携した教育活動の充実を図る。(なか小・番里・早ね・早起き・朝ごはん週間等)	4 学期に3回以上取り組んだ 3 学期に2回取り組んだ 2 学期に1回取り組んだ 1 年に2回以上取り組んだ 4 学期に3回以上に取り組んだ 3 学期に2回取り組んだ 2 学期に1回取り組んだ 1 年に2回以上に取り組んだ	2.9	C	4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(保護者・地域と一体となる) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満 4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(地域人材の活用) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満	87%	A	家庭と連携した教育活動の充実を図るため、なか小・番里・早ね・早起き・朝ごはん週間などの取組を実施している。また、保護者や地域に対しては、学校よりやホームページ等を通して、学習や学校生活の様子を定期的に発信している。家庭との方向性の関わりを意識し、工夫を取り入れ、より実効性の高い連携となるよう改善を図る。さらに、HPや学校だより等についても発信を行い、家庭や地域とより密に連携し、学校生活の取組が活発に伝わる発信の充実を図っていく。	保護者の自己評価がやや低い点に気づき、教職員が家庭との連携を一段階、取組の質の向上につけていくことを期待していた。	B																																																															
		日常的に積極的な情報発信や公開を通して教育活動の理解を求めるとともに受信・共有を行う。	保護者や地域に、学習や学校生活の状況を、学校だより、HP等で定期的に情報発信する。 保護者会や学校公開、学校行事などで、積極的に教育活動を公開する。	4 学期に3回以上取り組んだ 3 学期に2回取り組んだ 2 学期に1回取り組んだ 1 年に2回以上に取り組んだ 4 学期40回以上実施 3 学期30回以上実施 2 学期20回以上実施 1 年間20回未満の実施 4 ねね3回以上実施 3 ねね2回以上実施 2 ねね1回以上実施 1 ねね2回未満の実施	3.2	B	4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(情報発信) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満 4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(教育活動の公開) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満	90%	A	学習の定着を図るため、タブレット端末を活用した家庭学習(学習ドリルの活用等)を3年より1学年で推進している。しかし、1・2年での取組がでなかった。 また、学校側から、学校と家庭の連携、保護者への取組が、家庭学習の取組が十分に定着していない状況が見られる。ICTを活用し、児童同士の意見交換や発表などを通して、互いに高め合う学びの交換を促進していく。児童アンケートで評価が高い分野で、教職員の評価は高く、ICTを活用した学びの場面で十分に活用できていない実態と見られる。	家庭学習におけるタブレット端末の活用を定着させるため、学習ドリルの活用方法や家庭での取組の様子を通知するとともに、学校に伝えた家庭学習の進め方を整理し、学校と家庭の連携からは、家庭学習の取組が十分に定着していないことと、ICTを活用した協働的な学びが教職員の中で十分に実感されていない状況もみられる。今後は、家庭学習の目的・目的の活用方法を保護者と共有し、家庭と連携した取組をさらに充実させることが望まれる。	B																																																															
		基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。	新学習の時間を中心として、言語事項の習得、四則演算等、各教科の基礎的・基本的な事項を身に付ける。 学習の定着を図るため、タブレット端末も活用し、家庭学習を積極的・計画的に行わせる。(学習用ドリル等を活用した家庭学習等)	4 年間40回以上実施 3 年間30回以上実施 2 年間20回以上実施 1 年間20回未満の実施 4 ねね3回以上実施 3 ねね2回以上実施 2 ねね1回以上実施 1 ねね2回未満の実施 4 ねね3回以上の授業で実施 3 ねね2回以上の授業で実施 2 ねね1回以上の授業で実施 1 ねね2回未満の授業で実施	3.5	A	4 児童アンケート肯定的評価80%以上(学校の勉強はよく分かる) 3 児童アンケート肯定的評価70%以上 2 児童アンケート肯定的評価60%以上 1 児童アンケート肯定的評価50%未満 4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(家庭学習への取組) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満 4 保護者アンケート肯定的評価80%以上(思考力・判断力・表現力の育成) 3 保護者アンケート肯定的評価70%以上 2 保護者アンケート肯定的評価60%以上 1 保護者アンケート肯定的評価50%未満	95%	A	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満	研究授業や道徳授業地区公開講座を核とした道徳教育の研究を推進するとともに、委員会活動やクラブ活動、縦割り班活動など、児童の主体的な活動を推進し、指導者を行っている。いじめについては積極的に認知し、週1回に1つの対応チームによる情報共有を通して早期発見・早期対応に努めている。さらに、心のアンケートを活用して児童一人ひとりの生活リズムの確保に取組むとともに、特別支援の視点を生かした支援を行っている。これらの取組により、児童アンケート肯定的評価80%以上(教師が向き合う) 児童アンケート肯定的評価70%以上 児童アンケート肯定的評価60%以上 児童アンケート肯定的評価50%未満

取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ)

取組指標平均	3.5以上	⇒ 評価A
取組指標平均	3以上3.5未満	⇒ 評価B
取組指標平均	2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均	2未満	⇒ 評価D

成果指標評價基準

成果指標平均	80%以上⇒評價A
成果指標平均	70%以上⇒評價B
成果指標平均	55%以上⇒評價C
成果指標平均	55%未満⇒評價D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒ 取組・成果ともに十分評価できる
B⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。